

第2弾情報解禁

2024(令和6)年2月1日 報道発表資料

[本リリース発信元]ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

## 音楽に、坂本龍一の楽曲が決定！



ロームシアター京都 レポートリーの創造

### 高谷史郎(ダムタイプ)『Tangent(タンジェント)』

2024年2月9日(金)、10日(土)、11日(日・祝)、12日(月・休)

ロームシアター京都 サウスホール

総合ディレクション: 高谷史郎

プロジェクト・メンバー: 濱哲史、古舘健、白石晃一、細井美裕、南塚也

照明: 吉本有輝子

舞台監督: 大鹿展明

マネジメント: 高谷桜子

音楽: 坂本龍一

特別協力: KAB America Inc.(空里香、アレック・フェルマン)、Kab Inc.(湯田麻衣)

企画製作: ロームシアター京都

共同製作: Kanuti Gildi SAAL、欧州文化首都タルトゥ 2024(エストニア)

[本リリース発信元]

ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 広報担当: 儀三武、加藤(陸)、山形  
電話: 075-771-6051(10:00~17:00) FAX: 075-746-3366 E-mail: press@rohmtheatrekkyoto.jp

## ■坂本龍一の楽曲を特別に起用

高谷作品にとってなくてはならない坂本龍一が存在。最後のオリジナルアルバム『12』から選ばれた音源が『Tangent』の世界に美しい輪郭をあたえます。

### 坂本龍一氏の楽曲使用にあたって

「ロームシアター京都の「レポートリーの創造」で新作パフォーマンスを制作してほしいという依頼を受けたとき、音楽は坂本龍一さんをお願いしたいと考えていました。とても悲しいことにその願いは叶いませんでしたが、坂本さんの最後のアルバム『12』を聴かせてもらったその時からずっとその音が心の中にあり、最後の最後まで考え続けた結果、坂本さんの大切な音源を今回の舞台作品に使わせていただくことになりました。関係者の皆様に深く感謝します。」

高谷史郎



Photo by Neo Sora  
©2020 Kab Inc.

### 坂本龍一

1952年東京生まれ。東京藝術大学大学院修士課程修了。1978年『千のナイフ』でソロデビュー。同年「イエロー・マジック・オーケストラ(YMO)」に参加。YMO散開後も音楽を中心に多方面で活動。映画『戦場のメリークリスマス』の音楽で英国アカデミー賞を、映画『ラストエンペラー』の音楽ではアカデミー作曲賞、グラミー賞最優秀オリジナル映画音楽アルバム賞ほかを受賞。数々の映画音楽を手がけるなど、作曲家としても世界的な評価を得ている。常に革新的なサウンドを追求し、2007年に山口情報芸術センター[YCAM]で委嘱制作された高谷史郎との《LIFE - fluid, invisible, inaudible...》を発表。以降、インスタレーションの発表を数多く行っている。2013年、YCAM10周年記念祭のアーティストック・ディレクターを務め、展覧会「ART-ENVIRONMENT-LIFE」を開催。2014年には、札幌国際芸術祭のゲスト・ディレクターを務める。社会的な問題へも強い関心を持ち、森林保全と植林活動を行なう「more trees」、脱原発チャリティ・イベント「NO NUKES」、東日本大震災の被災地支援のための「こどもの音楽再生基金」、「東北ユースオーケストラ」など、さまざまな活動を行なった。2021年、M WOODS/北京、2023年 M WOODS/成都で大規模なインスタレーションの展覧会が行なわれている。2023年3月28日死去。

## ■衣裳提供に新進気鋭のデザイナー タロウホリウチ

新進気鋭の若手デザイナーで、かねてより高谷作品の愛好者である堀内太郎が手掛けるブランド、タロウホリウチが本作の衣裳を提供します。堀内や多彩なプロジェクトメンバーなど、新進気鋭の若手アーティストたちとのコラボレーションも本作の見どころのひとつです。



### 堀内太郎

1982年東京出身。2007年アントワープ王立美術アカデミー首席卒業し、2010年春夏にてウィメンズブランドの「タロウ ホリウチ(TARO HORIUCHI)」を立ち上げ、2018年秋冬より「ティーエイチ プロダクツ(th products)」をスタート。自身のブランドの他、無印良品 MUJI Labo, DESCENTE ALLTERRAIN, 航空会社 ZIPAIR 等のプロジェクトにも携わる。第30回毎日ファッション大賞新人賞・資生堂奨励賞受賞。

## ■関連テキスト

《2月1日公開》

○高谷史郎についてのコラム(島貫泰介) [こちら](#)

○プロジェクトメンバーによる座談会(白石晃一、濱哲史、古舘健、細井美裕) [こちら](#)

▶[前回プレスリリース情報はこちらをご覧ください](#)